

印刷博物館における 保存と展示の両立について



印刷博物館

- 所在地：東京都文京区水道1-3-3
トッパン小石川ビル内
- 開館：2000年10月7日
(弊社創立100周年記念事業)
- 来館者数：47万3千人(2015年11月現在)
年間入場者数＝約3万人
- 収蔵点数：印刷関連史料＝約7万点
印刷関連図書＝約4万点
- 館長：樺山紘一
(東京大学名誉教授・前国立西洋美術館館長)
- 運営：凸版印刷株式会社



この博物館が伝えたいことは 印刷とは何か？

- その役割＝社会的な影響力、必要性。
- その技術＝発達の課程。特異性、先進性。
- その表現＝印刷デザイン、印刷表現の技。

印刷と人々との関わり合い、印刷と人間学
印刷を通して探る人類との関連性、在り方。
人が行ってきたコミュニケーションの姿。

資料の展示について

展示室の概要

①構成

プロローグ展示室（385㎡）、本展示室（1,387 ㎡）

②仕様

- ・ 床：フローリング貼 ナラ板目 ウレタンワックス塗装
- ・ 壁：EP塗装（クロス下地）
- ・ 天井：コンクリート部 VP塗装、タケダシート

③空調設備

温度：22±2℃ 湿度：55±5%（24時間空調）

④照明

UVカット照明、間接照明

⑤消火設備

窒素ガス消火設備

企画展示ゾーン — みつける(発見)

印刷をテーマにしたさまざまな企画展を行います。

印刷工房「印刷の家」 — つくる(創造)

活版印刷を中心とした印刷技術を実際に体験できます。

プロログ展示ゾーン — かんじる(感覚)

印刷の世界へと導く空間です。

VRシアター

スーパーコンピューターを駆使した映像を上映しています。
オープンには土曜、日曜、土日に続く祝日です。
(定員入替制、無料)

総合展示ゾーン — わかる(理解)

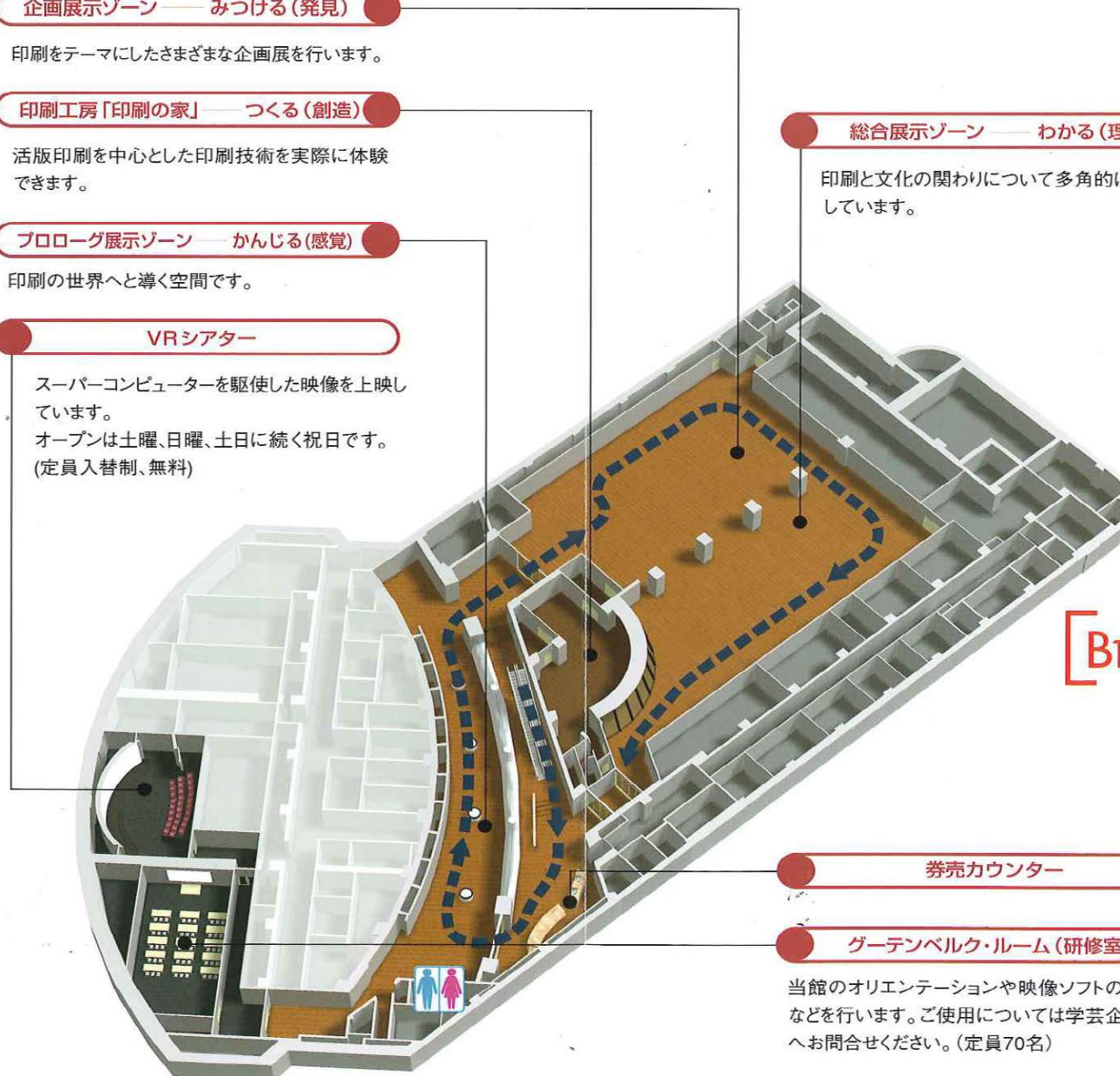
印刷と文化の関わりについて多角的に展示しています。

[B1F]

券売カウンター

グーテンベルク・ルーム(研修室)

当館のオリエンテーションや映像ソフトの上映などを行います。ご使用については学芸企画室へお問合せください。(定員70名)



- ・総合展（常設展）

- ・企画展

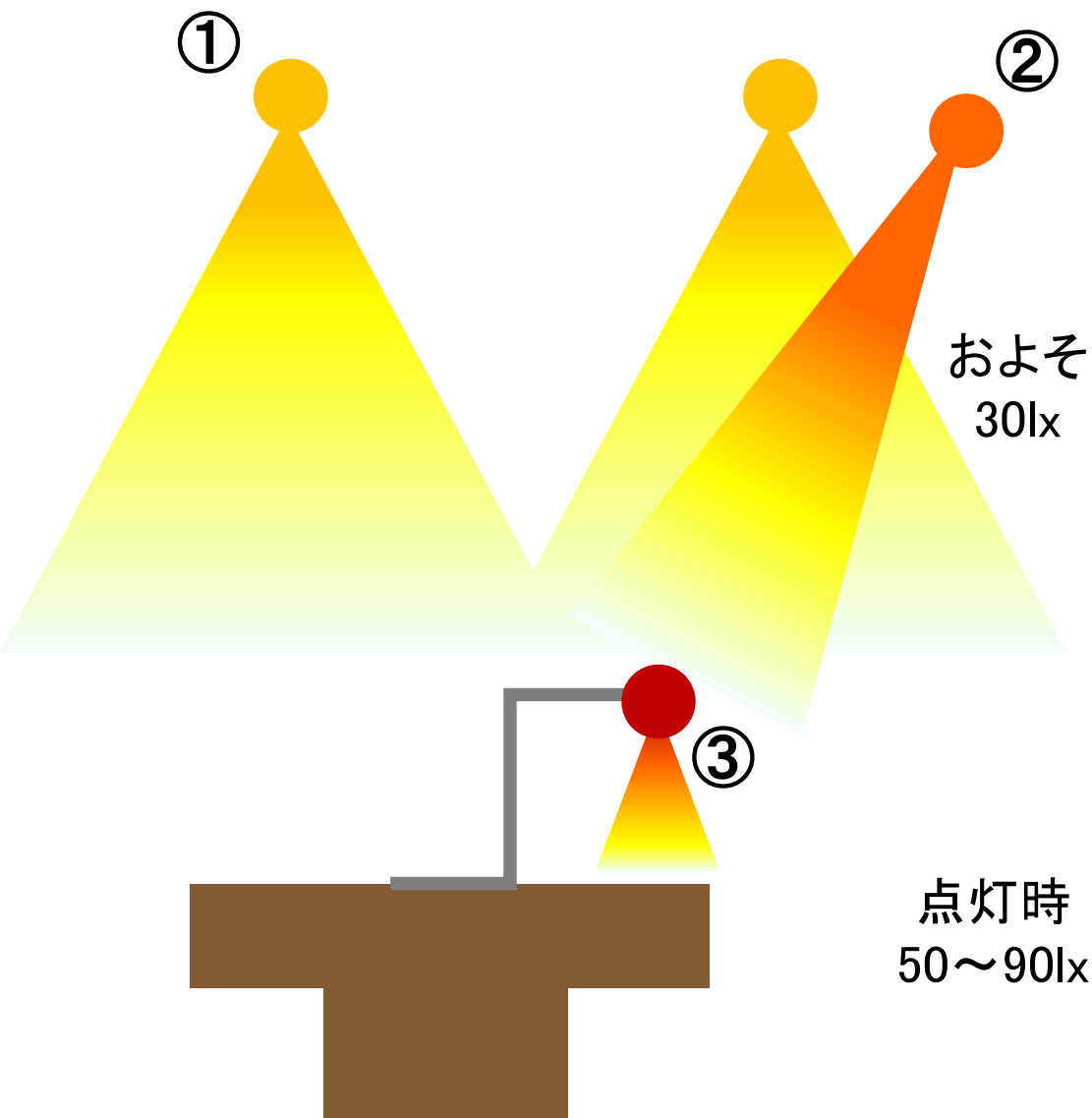
■ 総合展

- 1 机型展示台を採用し可動型展示システムとする。
- 2 企画と総合(常設)展示を同一フロアで開催。
- 3 パネルを展示せず、展示台の映像システムで解説をする。
- 4 印刷の歴史に沿った展開であるが、順不同のコラム展示。
- 5 椅子に座って展覧し、長時間滞在可能なパーソナル対応。

照明



本展示場（総合展示）



①天井ベースライト

ハロゲンライト(UVカット)
拡散フィルター付
建築に固定(位置変更不可)
調光可能(一括制御)

②天井スポットライト

ハロゲンライト(一部LED)
拡散フィルター付
グリッド上で位置変更可能
調光可能(個別制御)

③什器スポットライト

ハロゲンライト(UVカット)
センサーで点灯、一定時間で消灯
調光可能(個別制御)

- ・総合展（常設展）

- ・企画展







Vatican Library

THE LIBRARY COLLECTIONS INFORMATION FOR READERS PEOPLE CATALOGUES

- HOME PAGE
- CALENDAR
- BOOKSHOP
- ONLINE CATALOGUES

- MANUSCRIPTS
- PRINTED BOOKS
- ARCHIVES
- INCUNABULA
- GRAPHIC MATERIALS AND ART OBJECTS
- COINS AND MEDALS
- GENERAL CATALOGUE

PRIVATE AREA

Email *:

Password *:

Login

- Forgot password?
- Subscribe
- Recover subscription

CONTACT



DIGITALIZE TO DISCLOSE

THE MANUSCRIPTS OF THE VATICAN LIBRARY 2000 YEARS OF HISTORY TO KNOW

READ MORE

Highlights Newsletter News Bookshop

GAETANO MARINI (1742-1815) PROTAGONISTA DELLA CULTURA EUROPEA. SCRITTI PER IL BICENTENARIO DELLA MORTE. VOL. I-II

18/11/2015, 5pm, book presentation at Sistene hall: "Gaetano Marini (1742-1815) Protagonista della cultura europea. Scritti per il bicentenario della morte. Vol. I-II" (Studi e Testi 491-492) ...

I DISEGNI DI BERNINI E DELLA SUA SCUOLA NELLA BIBLIOTECA APOSTOLICA VATICANA

Thursday 29 October 2015 - 16 PM - Vatican Library - Vatican City ...

Go to page 1 ...

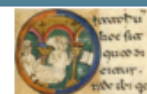
Thanks



The Library thanks its benefactors

Support the Library

If you want to support the Library...



Sanctuary of Culture Foundation

Hanna Papyrus 1 (Mater Verbi)

Digitized Collections

Digitized Manuscripts

Digitized Incunabula

Unavailable Collections

Unavailable Manuscripts

Unavailable Printed Books Collections

Admission Criteria

Admission Office

Rules for Readers

Letter of Surety

Photographic Laboratory

Forms for Photographic Reproductions

Exhibitions Service

Regulations for Exhibition Loans

School of Library Science

Access to School of Library Science

Departments

Visit the BAV's Departments

Conservation Workshop

Visit the Conservation Laboratory

Tweets

Follow



Vatican Library

@vaticanlibrary

23 Nov

The Basilica S. Petri - Views at a special discount during the Jubilee of Mercy.

pic.twitter.com/chqo7AHgjI

Show Photo



Vatican Library

@vaticanlibrary

14 Nov

We wish to inform you that on Wednesday 18 November 2015 the Library will close at 4:15pm.

Expand



Vatican Library

@vaticanlibrary

12 Nov

Ducal Palace of Urbino.

Tweet to @vaticanlibrary

ヴァチカン教皇庁図書館Webサイト(<https://www.vatlib.it/>)

① 資料の移動について

- ・展示開始日から起算して7日以内でなければ、資料の移動はできない
- ・作品は、保管される間、及び展覧会前後に移動する場合の間においても、温度及び湿度の過度の急変から保護されるものとする。

7日前
ローマ発

6日前
成田着
↓
博物館へ

4～5日前
当館収蔵庫にて
シーズニング

3日前
開梱・演示

2日前
予備日

前日
オープニング
レセプション



② 照明・湿度について

- ・作品は、自然光や人工光に直接さらしてはならない。
- ・照明は50～60ルクスの値に制限されるものとする。

光に対する反応	種類	日本 (照明学会)	ICOM(仏)	ヴァチカン 図書館
光に非常に敏感なもの	布、水彩画、日本画、印刷物、自然史関係標本、など	50lx	50lx できれば低い方がよい (色温度約2900K)	50～60lx
光に比較的敏感なもの	油彩画、テンペラ画、フレスコ画、骨、象牙、木製品、漆器など	150lx	150～180lx (色温度約4000K)	
光に敏感でないもの	金属、石、ガラス、エナメルなど	500lx	特に制限なし	

日本、ICOMは、パナソニック株式会社「照明研究会講義資料」(2015年10月21日)より転載

国内や国際基準と大きな乖離がないため通常に対応を実施

③-1 展示について(ケース)

- ・作品は、密封された又は警報装置で保護されたショーケースに収納
- ・作品がその中に展示されるショーケースは、例外的なケースで、かつヴァチカンの代理人が立ち会う場合を除き開けてはならない。
- ・展示場所は、温度が18℃～20℃、また相対湿度が45%～55%の範囲内に保たれ、専用の測定装置によって一目で確認できる



要求性能:エアタイト(ケース内に調湿剤)、飛散防止フィルム
セキュリティ:ロック式または電動
資料返却の関係で一部、資料の順番を入れ替える

③-2 展示について(書見台)

- ・本の場合、180度ではなく、90度～100度の角度で開いた状態で、専用の書見台に載せて展示する



洋書は硬質ウレタンマットを書見台として使用（開き具合やページにあわせて現場施工）
一部、表紙を見せるためにアクリルの台に鏡を設置し展示（当館資料）



和書は中性紙のダンボールで高さを調節し展示

終